

月刊

ポケット

あわじ

発行日 2006年12月1日

つながれ～郷土の伝統文化



きたあま いなだみなみ
北阿万稲田南
きつねおどり

北阿万小学校の運動会では、毎年3、4年生が「きつねおどり」を踊ります。頭に豆絞りをかぶり、タスキがけ、お尻には黄色いしっぽをつけた可愛い子どもたちの姿に、観客の父兄からも思わず微笑みがこぼれます。太鼓に拍子木、それに浄瑠璃くずしの独特の言い回しの唄。ただそれだけの伴奏に乗り、きつねのようにコミカルにおもしろおかしく踊り出します。

「きつねおどり」は、昔、北阿万稲田南地区の盆踊りとして踊られていたのですが、昭和20年代半ば以降衰退してしまいました。消滅を危惧した同地の前山巧さんを中心とした同好会のメンバーが尽力し、郷土芸能イベント等で踊るようになり継承されています。

小学校の運動会に登場したのは平成14年からで、今年で5回目になります。地域のことを知ろうという学

習の一環に取り入れたいという、当時の校長先生から要望で「きつねおどり」を踊ることになったそうです。

北阿万小学校では、縦割り班で昨年踊った4年生が3年生に教えます。だから、4年生は真剣で一生懸命です。子どもたちは、「3年になったら、きつねおどりが踊れる」というワクワクした気持ちが自然と出ています。今年は、太鼓や拍子木も子どもたちが担当し、衣装もしっぽに鳴り物(鈴など)やリボンをつけたりして各自が工夫していました。将来的には、唄も子どもたちが歌えるようになってほしいとの期待もあります。淡路島の皆さん、何故かしら見る人の心がジワ～と温くなる「きつねおどり」に出会いに、北阿万小学校(南あわじ市)の運動会に来られませんか。(北阿万小学校の運動会は春です) 取材:竹谷香代

応援隊だより つながれ～郷土の伝統文化

きつねおどり 南あわじ市北阿万稲田南・.....1

淡路人形座のニューフェイス

東浦芸能保存会 洲本高校おまあや復興会.....2

細工町獅子舞・堺小浄瑠璃・岩屋あびす太鼓.....3

くらしのパートナーシップ.....4

目次

炊飯器でエッ!のびっくりケーキ.....4

社交ダンス千秋グループ紹介.....5

子育てリレーメッセージ.....5

淡路生活科学センターからのお知せ.....6

淡路の文化活動・イベント情報.....7～8

つづけ～ニューフェイス～

淡路人形座 橋本愛生さん



淡路人形浄瑠璃を後世に伝えるため、大鳴門橋記念館で一日5～7公演を行っている淡路人形座に、今年4月就職した洲本市由良出身の橋本さんを訪ね、その魅力を聞きました。応援隊：「座員になったきっかけは？」橋本さん：「高校を出て就職活動中に行ったハローワークで、人形遣い募集の欄を見つけ、母と見に来て情感あふれる語りや、重厚な三味線の響き、そして豊かな人形の感情表現に感動したのがきっかけです。」応援隊：「高校で人形遣いの経験があったのですか？」橋本さん：「いいえ。未経験です。」応援隊：「では、一からの挑戦ですね。半年が経ってどうですか？」橋本さん：「はい！たいへんです。ここの座員は、人形遣いも浄瑠璃を語る太夫も三味線もオールマイティにこなします。私はまだ観客気分が抜けませんが、みんなの邪魔にならないように人形の足遣いを修業中です。足遣い7年、右手遣い7年、面遣い一生といい、面遣いで細かな感情を表します。教えてくれる先輩に感謝しながら頑張っています。」取材：浜田泰美

「やっどせー！やっどせー！」～東浦芸能保存会～

リズム軽やかな太鼓の音が響き、唄う音頭の合間に、かけ声の「やっどせー！やっどせー！」が入り、耳に心地よく響いてきます。取材をしたのは、東浦地域に昔から伝わる、盆踊り音頭を語り継いでいるグループです。増田さん、高田さん、太鼓の相田さん、戎さん達は週に1度集まり、江戸時代中期から伝わる盆踊り音頭を練習しています。昔、東浦の仮屋は阪神間からの船の行き来があり、交通の要所として栄え、旅人が仮の宿をとって心身を休めました。この地に仮の宿を取ったことから仮屋という地名になったとも言われています。そのとき伝わったお話が音頭となり今に続いています。どんな演目があるのかというと、おなじみの「巡礼お鶴」「那須の興市」淡路の恋話の「常六」高野山の「石童丸」などですが、まだまだあるそうです。一つの音頭が15分～20分位で、唄い手に合わせて調子を上げようと、合いの手のかけ声が入ることで、さらに盛り上がります。昔は盆踊りの輪になりながら、子どもたちはお腹がすくとお菓子の豆を催促するのに「豆もってこいっ、喰んだろかあ！」というような合いの手を入れたり、大人からは「下手なら、大根かませ！」などと飛び交いながら一つになり楽しんだそうです。みんなで楽しむことが少なくなってきた昨今、なんともうれしいひと時でした。取材：竹原祐乗



よみがえる 八狸伝説
洲本高校



よみがえる八狸（やだぬき）伝説

洲本高校では「おまあや復興会洲本高校連」として毎年、淡路島まつりに参加しています。今年はその伝統民謡「おまあや」を若い人でも踊れるようにと八狸伝説を取り入れた軽快でリズムカルな新作民謡「四季の八狸」を初披露しました。同校生徒会長の平野圭太さんは「勉強やクラブ活動で忙しいなかで参加してもらうのは大変ですが、踊り終えて得る達成感はすばらしい。ぜひ後輩にも受け継いでいってもらいたい。」と、郷土の伝統文化を大切に思う気持ちがしっかり伝わってきました。取材：和田和子

親子三代 受け継がれる獅子舞

洲本八幡神社の春祭りで

奉納されている「獅子舞」は細工町(さいくまち)子供会の伝統行事です。そのなかでも生田さん一家は親子三代に渡り獅子舞に関わっています。父親の兼介さんは、「幼かった頃、世話人だった親父に連れられ参加していましたが、その頃は子どもも多く小学校の上級生にならないと役がもらえず練習も厳しいものだった。それでも小学校の頃には練習が楽しくなり始めていたように思うなあ」。その兼介さんは、現在小学2年生になる息子さんの時希くんを連れて、指導する立場になって参加しています。時希くんは、「友達の正之くんと遊べるし、獅子舞はホントにおもしろいよ」と、春が来るのが待ち遠しいようでした。

取材：和田和子



納 正之くん(左)と生田時希くん(右)



今年の夏、長坂先生に特訓を受け出演した後継者団体発表会。現在、先生は鶴澤友球師匠(人間国宝)の下で修行に専念。

洲本市立堺小学校の現6年生が3～5年生のとき、講師として長坂先生が赴任。小学校の音楽の学習指導要領には日本の伝統音楽を取り入れることになっていましたが、鑑賞中心であるのを残念に思い、ご自身が大学院での研究テーマとしていた浄瑠璃を音楽表現の一つにしては、と考えた。折しも平成15年5月には浄瑠璃の師匠から「鶴澤友球(つるさわ ともしゅう)」という名を拝命し、浄瑠璃を学校で指導する許しを得た。

その上、子どもたちは歌が好き、表現能力抜群、人

前で物怖じしないと3拍子そろっていたので指導を決意。「初め、じいちゃんやばあちゃんがするものだと思ったし、先生も厳しかったので嫌だった」と、女子児童。「でも先生が他の小学校に替わって淋しくて、あの練習がしたいと強く思った」「自分がどんな場面を語っているのかを考えると自然に感情が入った」。取材中、子どもたちに一節を聞かせてもらった。

外題(けだい)は「日高川入相花王渡し場の段(ひだかがわいりあいざくらわたしばのだん)」。難しい詞(ことば)を今でもちゃんと覚えていて、上手なこと！ 3年生のとき、不織布に竹串を通したり、ホッチキスで留めて作った肩衣(かたきぬ)と、現担任の不動先生のアイデアで、牛乳パック2個に新聞紙20枚を丸めて詰め、ガムテープで一つにして「しりすけ」を作った。今夏、開催された「淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会」に、この手作りの「肩衣としりすけ」を使って出演、長坂先生に特訓を受けた発表は高い評価を受けた。今、堺小学校の浄瑠璃は、指導者がいないことと練習の時間がとれないことで中断している。いろいろな問題を超えて、なんとか続けてほしい…。取材西岡真理子

岩屋あびす太鼓 「♪～ドンドコドンドコドンドコドン ドンドコドンドコドンドコドン～♪」「ソ～レッ！」

金曜日の夜、淡路市岩屋体育館には太鼓の音が響きます。「岩屋あびす太鼓」は、5才から中学生まで約30人のメンバーで活動しているグループです。ときには高校生になったこれまでのメンバーも加わり、大きい子が小さい子を教えたり、注意したり、まるで大家族の兄弟姉妹のようです。「太鼓の技術向上はもちろんのことですが、あいさつなどの礼儀や人間関係を結ぶことの大切さを学ぶ場にしていきたい。」と、指導者の立谷林也(たつたにりんや)さんは話されます。明石海峡の潮の流れをイメージした曲「はやしお」、地域の結束を願った曲「結(ゆう)」、岩屋港の早朝風景をイメージして出来上がった曲「船出」や勇壮なだんじり太鼓をアレンジしたオリジナル曲などレパートリーも増えてきました。それらを持って地域の夏祭り、養護・介護老人施設夏祭り、明石海峡公園秋祭りなど、数多くのステージで発表しています。地域の伝統を受け継ぐ「あびす太鼓」ですが、メンバーには、旧淡路町以外の子どもたちも増えてきています。「淡路市となった今、新たな伝統を作っていこう」と、ますます練習に励む今日この頃です。(連絡先:岩屋公民館 立谷まで TEL 0799-72-3105) 取材：立谷貞代





紹介しま〜す!!
くらしの中の人と人、
人と場所、人と物
etc

くらしのパートナーシップ

「淡路のちょいワザ・おおワザ・おもしろワザ名人」

魂〜kon〜



県立淡路養護学校の児童・生徒たち



県立淡路養護学校のPTA親子教室で「今年は親子で踊りを楽しもう!」ということで、ちょいワザ名人の「魂」の皆さんをお招きしました。前半は、若さあふれるダイナミックな踊りをたくさん披露していただき、楽しい雰囲気を感じることができました。また、後半は踊りの指導をしていただき、児童生徒、保護者、教職

員が一体となって躍動感あふれる「よさこい」を体感、親子の絆をより一層深めることができました。踊った後には「魂」の皆さんと一緒に写真を撮ったり会話を交わしたりして交流を深め、笑顔があふれる和やかなひとときを過ごすことができました。「魂」の皆さん、ありがとうございました。 淡路養護学校 伊藤

ポケット・クッキングpart 1

炊飯器でエッ!のびっくりケーキ

知り合いのT青年は、高校生



のときに彼女のためにクリスマスケーキを焼いてあげたそうです。それもホットケーキミックスを使って電気釜で。「簡単だけど、飾り付けを工夫したから、めっちゃ喜んでくれた!」と言って、作り方を教えてくれました。T青年は、いちごと生クリームでサンタクロースを作って真ん中に乗せたそうです。彼女の目はハート型になっていたことでしょう!

【材料】(直径20cm1個分)

ホットケーキミックス 200g
サラダ油 大さじ4

A 卵 1個
砂糖 大さじ3
牛乳 150cc

①ボールにAを入れて泡だて器でよく混ぜ、ホットケーキミックスを加えてダマがなくなるまで混ぜ、サラダ油を加えうすく混ぜる。② ①を炊飯器にセット、普通の炊飯スイッチを入れる。③保温になったら竹串をさしてみて生地がつかなければ出来上がり。生地がついてきたら再度スイッチを入れ、10分ほど加熱する。

応援隊 西岡真理子

ポケット・クッキングpart 2

【材料と作り方…番号順に】

バター(無塩) 小さじ1→①炊飯器のうち釜にぬる。
砂糖 大さじ1→② ①に砂糖をふって置く。
フルーツの缶詰 2缶(小)→③汁をきって炊飯器に並べる。
バター(無塩) 80g→④溶かす。
卵 2個 }→⑤混ぜる。
砂糖 100g }→⑥さっくり混ぜる。
ホットケーキミックス 150g

⑦ ③に⑥を入れて炊飯器のスイッチON。炊き上がったたら、皿にひっくり返す。フルーツがのっているの、さっぱりとおいしいですよ。りんごやバナナを使ってもOK!

応援隊 岡 八代井

ちょいワザのちょいワザ
でフルーツケーキ



生活創造活動グループ



ちあき グループ
社交ダンス 千秋グループ

代表者：川合 千秋

連絡先：淡路市斗ノ内288

TEL：0799-82-1069

練習会場：淡路文化会館 パフォーマンススペース

練習日：月2回木曜日

「スロー・スロー・クイック・クイック〜、はい、時計回りにズーと回って〜」タンゴのリズムに乗せて、声が高らかに響く。63、64〜76才の男女が軽やかに…、とはいかないが、集い踊る社交ダンス千秋グループ。

最初は緊張していても、互いに手を握って一緒に踊れば、アッという間に皆との距離感が縮まる。それが、踊りの魅力だ。グループを結成して8ヶ月、メンバーも21人に増えた。しかし、男性は6人。ステップをグイグイと

リードしている。少しでも踊れる人は、惜しまず新米さんにステップを教える。「今は、振り回されてキリキリ舞って相手にしがみついている感じがわあ」と言う女性も、早くステップを自分のものにしたくて、家でも田んぼでも、思い出しながら練習をしているそうだ。ストレス解消、気持ちが若返る、背筋がピンと伸びて姿勢がよくなる。ロ々にダンスの楽しさを語る。12月21日(木)には、ケーキとジュース付のダンスパーティーを開く。

子育てに夢をもっている両親が登場！

子育てリレーメッセージ



淡路市大谷
福原 一仁〔父〕
ひとみ〔母〕
ひろと
央士(長男)

央士(ひろと)は、2歳6ヶ月。ブルドーザーやダンプカーが大好きな元気いっぱいの子供です。元気元気の央士は、朝の9時から昼過ぎまで外で土遊び。お昼寝から起きると日が沈んで周りが見えなくなるまで、また外で土遊び…。

そして“しめ”は暗闇の中をお散歩。最近では三輪車でビューッと私をほおっておいて先に行ってしまう、その後を追いかける姿は、ご近所さんにはすさまじい姿に映っているかもしれません。(〇〇)； そんな私達親子は月・水・金曜日には津名子育て学習センターへ出かけます。

楽しかったこと悩みごと等、なんでも聞いてもらえ、アドバイスしてくれる2人の先生方、センターでお友達になった親子のみなさんとはセンターの開いていない日でも仲良しです。

央士は私達夫婦、おじいちゃん、おばあちゃんをはじめ、沢山の友達との出逢いを大切にしつつ、たっぷりの愛情と、ちょっぴりの期待を注いでもらいながら、日々、心身ともに大きく成長しています。



淡路市子育て学習センターの合同運動会で。
ちょっとキンチョー気味ですが…ハイ、ポーズ！

淡路生活科学センター

くらしの相談コーナー

消費生活相談窓口：淡路生活科学センター

TEL 0799-85-0999 FAX 0799-85-0400



こまったソオ

☆減らない架空請求 手口は イロイロ☆

民事訴訟裁判強制執行最終通達書

管理コード 0311967

この度、御通知致しましたのは、貴殿に対する民事訴訟裁判起訴事実についてです。貴殿は御契約会社及び、回収業者から起訴されましたので当局までご連絡下さい。

こちら「総合消費者民法特例法」上、財政局認可通達書となっておりますので連絡なきお客様につきましてはやむを得ず裁判所からの書類通達書、指定裁判所へ出廷となります。また裁判後の処置と致しましては、給料の差し押さえ及び、動産物、不動産物の差し押さえを強制執行させていただきます。また、当局と執行官による「執行証書の交付」を承諾して頂くようお願いすると同時に、債権譲渡証明書を1通郵送させていただきますので承諾の上ご返送下さい。尚、書面での通達となりますのでプライバシー保護の為、請求金額、支払方法は当局職員までご連絡下さい。以上を持ちまして最終通達とさせていただきます。

裁判取り下げ期日

平成18年 9月15日

財団法人 日本財政局総務管理部

〒131-0043

東京都

(代表) 03-3835-

電話受付時間 9:00~16:00 (土・日・祝日を除く)

事例 **こんなハガキ**が届いたので電話したところ、すぐに弁護士に相談した方が良いと言われ国選弁護士という人を紹介された。弁護士からは着手費用としては80万円が必要となるが、とりえず、至急裁判所に供託金を支払わないといけないので、49万5千円を振り込むよう言われた。支払うべきでしょうか。

※差出人は、公的機関やこれに類似した名称ですが、電話番号が違っていたり、実在しない団体が記載されています。

封書で届くこともあるので注意！！

事例のようなハガキや封書は
無視しましょう！



このようなハガキや封書は、何らかの方法で個人情報を得た者が、不特定多数の人に送付している架空請求だと思われます。また、それを見て電話をかけた人には、もっともらしく説明し、多額の費用を請求する場合があります。事例に関しては、裁判所に支払う供託金が多額なものであるにもかかわらず、弁護士と名乗る人もグルになっていると思われます。

対処法

- ①絶対に業者には電話せず、無視すること。
→連絡することで個人情報を知られ、さらに悪質な請求があります。
- ②利用していない料金、納得できない料金は絶対に支払わないこと。→一度支払うと、次々と請求される恐れがあります。
- ③支払ってしまった場合は警察に被害届を出す。

注意

裁判所からの通知にはきちんと対応すること。
→裁判所から「特別送達」と書かれた封書が届いた場合は、最寄の裁判所で確認の上、その内容に心当たりがなければ不当請求であることを必ず申し出てください。

【時】開催時期 【所】場所 【料】料金 【内】内容 【定】定員 【問】問い合わせ先

—しづかホール—

クリスマスコンサート

【時】12月22日(金)18:00開演
【料】無料
【内】合唱(恵泉保育園・しづか少年少女合唱団)
バンド(レジェンド・DOBANDO)
声楽(Bel Fiore)
17:30頃「神戸の壁」クリスマスの夜空を彩る
ライトアップ点灯式(ライトアップ期間:
12/22~12/27 17:30~22:00)
【問】しづかホール TEL0799-62-2001



TEL050-7105-5100

第16回淡路アンサンブルフェスティバル

【時】12月24日(日)10:00開演
【料】無料
【内】少人数編成による合奏発表
【問】淡路吹奏楽連盟(南淡中学校 山田)
TEL0799-52-0111

第34回兵庫県アンサンブルコンテスト

【時】1月21日(日)10:00開演
【料】前売900円 当日1,000円
【内】兵庫県吹奏楽連盟所属団体(小・高校)の演奏
【問】兵庫県吹奏楽連盟(南淡中学校 山田: TEL0799-52-0111)(津名中学校 西岡: TEL0799-64-0521)

—サンシャインホール—

サンシャインホール新春コンサート

【時】1月6日(土)15:00開演
【料】無料(要整理券)
【内】出演:神戸朝鮮高級学校吹奏楽部
【問】サンシャインホール TEL0799-74-0250



—北淡震災記念公園—

お正月もちつきイベント

【時】1月2日(月)①11:00~
②14:00~

【所】物産館前
【料】無料



活断層シンポジウム2007

【時】1月13日(土)13:00~、14日(日)9:00~
【所】セミナーハウス
【料】無料
【内】1日目は学校と地域で考える震災と防災(一般向き)。2日目は地震研究最前線(専門的な内容)。

阪神淡路大震災12周年記念イベント

「フェニックス合唱団 鎮魂の譜」
【時】1月17日(水)5:46開演(5:00開場)
【所】べっちゃんないロック広場
【料】無料
【内】毎年、兵庫県南部地震が起きた時間に行っているイベント。

阪神淡路大震災12周年記念イベント

「キッズ・ハートフェスティバル(仮称)」
【時】1月21日(日)10:00~15:00
【所】セミナーハウス
【料】大人1,000円 子ども500円
【内】親子断層教室、もちつき大会、再現!空とぶ子どものアトリエ(おえかき大会)

【問】北淡震災記念公園 TEL0799-82-3020

—国営明石海峡公園—

入園料:大人400円 小人(小中学生)80円
駐車料金:普通車500円 大型バス1,600円
新春イベント もちつき大会

【時】1月7日(日)、8日(祝・月)
イベント開催時間についてはお問い合わせください。
【料】参加費無料
【内】新年に無病息災を祈念してもちつきはいかが?淡路ちよぼ汁の振る舞いも予定。



『海峡フレンズ企画』

「トールペイント教室~淡路の瓦」
【時】1月8日(祝・月)イベント開催10:30~15:30
【料】500円~(材料費込み:作製材料により異なる。材料持ち込みの場合は300円~)
【内】淡路産の瓦に描くトールペイント。アクリルの絵の具で絵付けするため、水落ちしない。ガーデンのアクセントにもお洒落!

【問】明石海峡公園管理センター TEL0799-72-2000

—洲本市文化体育館—

「ありがとう」上映会(文化ホール)
【時】1月14日(日)①11:00 ②15:00
【料】前売1,300円

当日 一般1,800円 高生1,500円
小中生1,000円
【問】洲本市文化体育館 TEL0799-25-3321

平成18年度「YU・ライフ・サポート事業」県立淡路養護学校校外作品展(会議室1A-3)

【時】1月19日(金)~22日(月)
10:00~18:00(最終日は16:00まで)
【料】無料
【内】小学部・中学部・高等部・訪問教育の児童・生徒80名の絵画・立体・共同作品などの展覧会。

【問】県立淡路養護学校 TEL0799-35-0204

ありがとう淡路島一邦楽コンサート
若い世代に送る日本の音楽2007(文化ホール)

【時】1月19日(金)18:30開演
【料】2,000円(全席自由)
※未就学児の入場はご遠慮ください

【内】箏曲、長唄など。
【問】ありがとう淡路島邦楽コンサート実行委員会
TEL0799-22-3264

第29回淡路くらしのひろば展(文化ホール)

【時】1月27日(土)13:30開演
【料】無料
【内】環境問題をテーマに講演等を行う。
【問】淡路県民局県民生活部県民運動課
TEL0799-26-2047

—淡路人形浄瑠璃館(淡路人形座)—

淡路人形まつり

【時】1月1日(月)~2月11日(日)
【料】大人1,260円 中高生1,050円 小学生840円
(団体及び身障者割引有)
【内】1/1~1/3:正月イベント(戎舞、太鼓、その他、※1/1はじゃんけん大会、甘酒と福豆ふる舞い)1/1~2/11:野掛芝居風の客席、谷崎潤一郎関係品、写真展。
※期間中毎日11:40より「生写朝顔日記大井川の段」さわりを上演。

【問】淡路人形浄瑠璃館 TEL0799-52-0260

放送大学兵庫学習センター

平成19年度第1学期(4月入学)生募集

～教養学部～

- ①入学試験はありません。
- ②15歳以上ならば誰でも選科履修生・科目履修生として入学でき、約300科目の中から好きな科目を1科目からでも学べます。
- ③18歳以上で大学入学資格をお持ちの方は、誰でも全科履修生として入学でき、卒業すると学士の取得ができます。

～大学院～

- ①18歳以上ならば誰でも修士選科生・修士科目生として入学でき、約70科目の中から好きな科目を1科目から学べます。

学生の種類	入学科	授業料
科目履修生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)	6,000円	1科目(2単位)あたり 11,000円(テキスト代含む)
選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)	8,000円	
全科履修生(4年以上在学し、学位の取得を目指す)	22,000円	

学生の種類	入学科	授業料
修士科目生(6ヶ月在学し、希望する科目を履修)	12,000円	1科目(2単位)あたり 22,000円(テキスト代含む)
修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)	16,000円	

出願受付期間: H18. 12. 15 ~ H19. 2. 15

◎お問い合わせ先(詳しい資料を無料進呈します)
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
放送大学兵庫学習センター(TEL078-805-0052)
HP (<http://www.u-air.ac.jp>)

一洲本市民工房

一洲本市民工房では皆様からの年賀状作品を募集しております。年賀状作品は一洲本市民工房で展示します。作品は本年度中に下記あてまで届けてください。

～お問い合わせ～

一洲本市民工房 (担当: 山口)
一洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322

年賀状大募集!



12月～1月ギャラリーインフォメーション



兵庫県立淡路文化会館 展示室・県民ギャラリー 無料

- 第17回淡路市中学校合同美術部展 12月16日(土)～1月4日(木)
- 第25回選抜書友展 1月6日(土)～1月22日(月)
- 省資源・省エネルギー啓発ポスターコンクール入賞作品展 1月6日(土)～1月15日(月)

一洲本市民交流センターアールギャラリー 無料

- 県中総合文化祭淡路地区大会書写・美術発表 12月5日(火)～12月19日(火)
- ※淡路地区中学生生徒作品 書写54点、美術54点を展示

- 幼児画展(一洲本市公立幼稚園) 1月5日(金)～1月28日(日)

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館 大人300円、高・大生200円、小・中学生100円

- 玉青館コレクションI～玉青館ゆかりの作家たち～ 10月20日(金)～1月28日(日)
- ※直原玉青画伯から寄贈された絵画の中から菅橋彦・矢野橋村・幸松春浦の未公開作品(日本画)をはじめ、当館で個展を開催した森本栖風(書)・仙崎誠(日本画)・奥山藤一(洋画)・奥山晋(洋画)の作品を展示。

サンシャインホール 無料

- あわじしまのちいさな巨匠たち 12月2日(土)～12月26日(火)

編集だより

去る、11月11日(日)淡路文化会館で第2回県民交流広場等のネットワーク化支援事業と生活創造活動グループの交流会が開催されました。内容は、時節柄、星のイルミネーションづくりと韓国の家庭料理の講座で、私は異文化に触れたくて韓国料理(キンパップという太巻きすし作り)を受講しました。韓国出身の二人の講師の発音が、今は亡き、知り合いのオモニの発音とそっくりで、ひじょうに感慨深くなつかしく感じました。 応援隊 高田佳世子

ポケットあわじでは、皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしております。お気軽にどうぞ!

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路県民局 淡路文化会館・淡路生活科学センター
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391
FAX 0799-85-0400
E-mail: bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじは」どこで手に入るの?・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布しております。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

<http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/gallery/pocket/>